

琴浦町総合教育会議録

日時 令和2年6月23日（火）午後3時30分～午後5時
場所 琴浦町生涯学習センター 第1会議室
出席委員 石前富久美委員、田中宣彦委員、高力和美委員、森田澄恵委員、田中清治教育長
欠席委員 なし
その他出席者 桑本教育総務課長兼学校給食センター長、宮本社会教育課長、小惊人権・同和教育課長、岸本指導主事、森本指導主事
傍聴人 なし

議事日程

町長 開会
「ICT機器整備を進めているが、不慣れで使えないので、今まで通り」といったことが心配される。整備したものを効率的に活用していただきたい。
来年度以降、予算難になることも。教員の増員はできないことも考えられる。
ICT活用により授業のやり方を変えて効率化などが求められる。

教育長 コロナウイルス感染症対策によって、今まで通りではいけない。
今後どのような教育にしていくべきか一緒に検討していきたい。

町長 協議事項に入ります。

教育長 「教育大綱について」 ～資料を基に説明～
すべてを網羅していない。社会教育の部分がないので、考えていく必要がある。
ただ、3年間については、何を目指していくのか、焦点化していくべき。コロナへの対応で、これまで通りではなく、新しい形を考えていく必要もある。働き方改革についても同様。

町長 スケジュール感は？

教育長 本年度は、総合教育会議を4回開催し協議していく必要があると考えている。

町長 資料を見られてご意見を

教育委員 「人権について」を入れていきたい

教育委員 生まれてから高齢になるまで長いスパンで学ぶという視点も入れていきたい

教育委員 どの年代でも学べる琴浦町で生まれてよかったと思えるような社会を創っていったら。

教育委員 「誰一人取り残さない」質の高い教育の実現について
フリースクールにも行けない児童生徒に対しても配慮してほしい

教育長 その点については、(3)の個人ごとのニーズや特性に対応した教育環境づくりを進め、教育機会の確保に対する支援としてあげています。具体的にはこれからですが。

教育委員 先生方の意識改革について、どうしていくのか。

教育委員 特別教育支援員とは？

指導主事 学習支援員の配置のこと。

町長 人権・生涯学習について、教育長が考えておられることは。

教育長 成人に対する学びの機会を作る必要があると考えている。
「何かしてもらおう町」ではなく、「自分たちもしていく」というスタンスでコミュニティ・スクールは、一つの手がかりだと考えている。
きっかけとして地域全体を変えていくような取組を考えたい。

町長 コミュニティスクールとは？

指導主事 「学校運営協議会」 これまでは、学校だけが目標を持っていたが、地域の人がかんな子どもを育てたいという思いを共有してすすめていく。

教育長 受け身ではなく主体的な活動ができていく。地域も意識を変えていく。地域全体を変えていく。持続可能な地域社会の実現に。

町長 中心は学校ですね。地域の人々の生涯学習という視点ではどうか。
間が抜けてしまうのでは？

教育委員 小中学校の9年間が中心となっている。
どの年代の人でも生き甲斐に感じられるような取組をしていってほしい。

教育長 就学前教育を教育大綱に入れるのか？どの部分まで入れるのか悩む。
みなさんから意見を出してもらえれば。

教育委員 子育て応援課がしている「すくすくプラン」がある。

町長 幼児教育を入れるかどうかは、ここで考えていけばよい。
生涯学習で考えていくなら、義務教育の9年間より長い。大綱に入れていくほうがよいのか。

教育委員 「教育大綱」とは、どんな趣旨で作るのか。
趣旨を読むと、琴浦教育の全体を網羅するものではないか。

町長 みなさんは「生涯学習」について、どうお考えか

教育委員 公民館活動で有益な活動をしているが、参加しない方も多い。どうまきこんでいくかが大事ではないか。

町長 現在、公民館が9か所あるが、それぞれのやり方が違う。今のやり方でいいのか。

教育委員 コロナの対応で、人との関わりが少なくなっていくのではないか

町長 高齢者は、無理に集まれない状況にある。もとに戻りにくい状況もある。

幼児教育については、どうお考えか？

教育委員 連携の部分で、困っておられることもある。支援の必要な人が多い。
人間関係をどうつなぐか。特性に合った支援について悩む。

教育委員 どのように支援していくのか。連携を通して進めていく必要がある。
幼児教育を入れていくのも必要。

町長 重点をどこに絞っていくのか 考えていきたい。

「教育大綱」について今後の戦略を

教育総務課長 幼児教育についても生涯学習についても関係課と連携をしながら考えていく。

人権同和教育課 「人権教育」全体に関わってくるものなので、入れていくとよいのか

町長 「人権条例」を考えているといったところも検討している。

社会教育課長 働き盛りの年代に対する教育の機会の提供ができていない状況。

興味のあることをそれぞれが取り組めたらよい。

まなびタウンとうはくができた時点では「多様化する学びに対応する学びの場」

町民の思いが実現できる場として行政ができることを。

副町長 地方創成戦略について あえて、防災・福祉・人権は入れていない。

コロナ対応後の状況を受けて、見直しが必要。デジタル社会。徹底するよう。

家庭環境の整備。先生方の授業力アップ。突破口を開いてほしい。

新しい働き方。学校行事がなくなったが、シンプルにしていくような考えも持つてほしい。

町長 作って終わりではなく、大綱のことを審議してほしい

職員の人材育成には、何が足りないか？

自ら考えるということが不足していると思う。

与えられた仕事へのスピードはすごいが、

「自ら考える」力を引き出すこと それが教育。それをもとに大綱を考えてほしい。

何が不足しているか考えて、提言をしてほしい。